

【対馬市観光振興推進計画策定業務／市民ワークショップ議事録】

日 時／令和 8 年 1 0 月 3 日（土） 1 0：0 0—1 2：0 0

場 所／対馬市交流センター 3 階 第 1・2・3 会議室

参加者／1 4 名

■下記の通り市民ワークショップを開催した。

①開会挨拶

対馬市観光推進部観光交流商工課の梅野補佐より開会挨拶を行った。

②「近年の観光動向と対馬の観光の現状」に関する説明

全国・世界の観光トレンド、対馬における観光の動向、対馬市観光振興推進計画及び市民ワークショップの目的について、受託事業者であるルーツ・アンド・パートナーズ佐藤より説明を行った。

③「市民ワークショップ」に関する説明

市民ワークショップの開催趣旨、進め方、ワーキングの内容について、受託事業者であるルーツ・アンド・パートナーズ佐藤より説明を行った。

④「対馬観光の課題や特徴」「対馬観光の目指したい姿」に関するワークショップ

「対馬の観光における特徴や課題」「対馬の観光における目指したい姿」について、グループごとに分かれてワークショップ形式で意見の抽出・共有を行った。

⑤グループワークの発表・まとめ

④のグループワークで話し合った内容について、グループごとに発表を行った。

⑥閉会挨拶

対馬市観光推進部観光交流商工課の築城課長より閉会挨拶を行った。

※ワークショップ結果については、別紙参照



開会挨拶



観光のトレンド・ワークショップの説明



ワークショップ全体の様子



グループワークの様子



グループワークの様子



ワークショップ発表の様子

(対馬の観光の魅力、対馬の誇れるところ)

自然や国境の島、景観、食に関する意見が多い

◎豊かな自然

- ・自然、山、海
- ・シーカヤック体験（海を自分の力で進む）
- ・鮎もどし自然公園（川遊びが気持ち良い）
- ・三宇田浜海水浴場
- ・舟志のもみじ街道

◎国境の島特有の魅力

- ・生態系、歴史の独特なフィールド環境
- ・ツシマヤマネコやウラボシシジミなどの固有の生物
- ・原始林がある

◎魚・釣り

- ・魚が美味しい
- ・釣り体験（釣り好きには良い）
- ・魚釣りスポットが多い
- ・釣り

◎美しい景観

- ・自然が多く景色が綺麗。
- ・フォトスポット
- ・景色が綺麗（和多都美神社）
- ・烏帽子岳展望台からの浅茅湾

◎食・グルメ

- ・食べ物が美味しい
- ・ポフミルコーヒーがある

◎人の温かさ

- ・人の温かさ
- ・地元の人が優しい

◎対馬の歴史

- ・歴史や神社、八幡宮神社
- ・赤米の神事

◎公園や峰町ファミリーパーク

(対馬の観光の課題、困っていること)

2次交通、観光意識、景観に関する意見が多い

◎2次交通

- ・交通の便が良くない
- ・バスの増加（交通手段の増加）
- ・観光バスの運転手の不足
- ・上対馬の道路整備
- ・ガソリンが高い
- ・船員の不足

◎観光意識の欠如

- ・観光に対する無関心
- ・地元にとっての当たり前は観光に繋がるがその意識がない
- ・地元と住んでいない人の交流

◎景観の活用不足

- ・対馬高校から以前は海が見えていたが木が生い茂っている
- ・上見坂公園の展望台から浅茅湾が見えない
- ・山や森が景観を損ねている

◎ゴミのポイ捨て・分別

- ・ゴミの分別ができていない
- ・ポイ捨てが多い

◎カフェなどが乏しい

◎東横インの朝食が混雑

◎スーパーのレジが詰まる (韓国人のセルフレジ不慣れ)

◎人が密集する

◎観光施設の説明板の老朽化

◎神社・仏閣のアピール不足

◎山が険しい

(5年後に目指したい対馬観光の姿)

(目指す観光に向けて必要なこと)

2次交通、自然、地元交流、バランスに関する意見が多い

◎島内の2次交通

- ・交通機関を充実させて、観光のモデルコースを構築
- ・車を持っていない人が観光周遊できる仕組みの構築
- ・交通設備を整える
- ・全体的に道が険しいので、道路を整備してほしい

◎自然の保全活用

- ・ある程度整備してほしい
- ・自然の活用・保全
- ・今ある自然を5年後も壊さないで守り続ける

◎ツシマヤマネコの活用

- ・ツシマヤマネコの後継確保
- ・絶滅させないように追加

◎景観の保全

◎交流型・体験型の観光推進

◎廃校の再活用

◎飲食店の充実

- ・未成年でも入れる飲食店充実
- ・観光地近くの食事場所・トイレの確保
- ・ジビエの活用

◎観光客と住民の交流

- ・双方に利益がある観光政策
- ・観光客と地元の交流イベント
- ・観光への地元の関わり増やす
- ・身の丈にあった観光

◎観光客のバランス

- ・日本人にも楽しんでもらえる島
- ・韓国人と日本人の割合が半々
- ・今よりもさらに観光客が過ぎしやすい観光地

◎身の丈にあった観光

◎海洋ゴミの減少

◎観光マップの充実

人材育成、交通、地域交流、PRに関する意見が多い

◎おもてなし人材の確保育成

- ・観光に対する自分ごと化
- ・高校生・中学生の活躍
- ・個人が旅行者を案内する

◎交通利便性の向上

- ・観光バスの増加
- ・交通を今よりも増やす
- ・対馬への移動運賃を下げる
- ・道の整備

◎観光財源の確保

- ・元手を増やす
- ・環境整備のための資金づくり

◎韓国語の表示を増やす

◎地域住民との交流促進

- ・地域との意見交換の場の創出
- ・多くの島民と課題・方向性共有
- ・島民と観光客のワークショップ
- ・地域住民のつながりの強化

◎積極的なアピール

- ・上手なPR方法を考える
- ・いろんな良いモノをアピール
- ・観光地ごとのPRパンフレット

◎体験型ツアーの造成

◎娯楽施設・お土産を増やす

◎今の自然を守る



(対馬の観光の魅力、対馬の誇れるところ)

対馬の食、海と山、歴史、目的のある観光など

◎対馬の食

- ・海の幸が美味しいところ
- ・小茂田のだんづけ餅とそば
- ・魚が美味しい

◎海と山

- ・小茂田浜の海がとても綺麗
- ・綺麗な海（三宇田浜、尾浦）
- ・森が多い
- ・海だけでなく森も良い

◎対馬の深い歴史

- ・歴史が深く、神社巡り・パワースポットがある
- ・歴史的に残っていて伝わる

◎目的のある観光

- ・目的があって対馬に来るとすごく楽しめる
- ・深い学びと知的好奇心、見つめ直す時間

◎祭りの継承（佐須地区）

(対馬の観光の課題、困っていること)

交通利便性の低下に関する意見が多い

◎交通利便性の低下

- ・地域バスの運転が荒い
- ・島への高い旅費。特に福岡から対馬が高く、友達を呼べない
- ・バスの便が少ないと思う
- ・大型バスが危険。
- ・韓国人の運転が危険
- ・交通の便が悪い
- ・壱岐は車で回りやすい

◎観光客のマナー

- ・蜷見学者のマナーが悪い
- ・マナーサインをボランティアでしていた人頼みになっている

◎水産資源の減少

- ・赤むつ漁が取れなくなってる
- ・上対馬も魚が小さくなってる

◎観光意識の低下

- ・島民自身が対馬の観光地の良いところを知らない
- ・他の町との比較、気づきがない

◎観光地の環境悪化

- ・対馬の海がゴミだらけ
- ・山や森に不法投棄、ポイ捨てが横行している

(5年後に目指したい対馬観光の姿)

国際観光推進、観光への市民参加に関する意見が多い

◎国際観光の推進

- ・対馬と韓国による国際観光推進
- ・対馬と韓国の民間同士の交流
- ・もっと韓国人観光客が訪れて厳原や対馬が発展すること
- ・韓国だけでなく世界から訪れる観光地対馬へ

◎観光への市民参加

- ・市民が案内する観光
- ・市民と市役所の連携
- ・住民の負担にならない観光客への案内、周知

◎暮らす観光（長期滞在型）

(目指す観光に向けて必要なこと)

空き家・廃校の活用、人材育成に関する意見が多い

◎空き家・廃校の活用

- ・閉校した学校の活用
- ・空き家・廃校の活用
- ・市が市民に貸す仕組み
- ・空き家や学校を活用した長期滞在型ゲストハウスの整備

◎観光人材の育成

- ・観光に関わる人材の育成
- ・学校で対馬でのフィールドワークを増やす
- ・対馬を知る時間を作って、アピールポイントを伝達

◎2次交通の充実

- ・ライドシェアの仕組みの導入
- ・交通手段は市民もお手伝い

◎市民活動の支援

- ・予算の相談
- ・ボランティア等の相談窓口

◎対馬ならではのお土産づくり 小分けして配れるもの

◎入島税の導入

◎韓国語のマナー・サイン



(対馬の観光の魅力、対馬の誇れるところ)

豊富なコンテンツ、自然、歴史に関する意見が多い

◎日本の田舎

- ・何もないところがいい
- ・人工物がなくて心が癒される

◎豊富な観光コンテンツ

- ・1本柱になれない素晴らしいポイントがいくらかもある
- ・たくさんの選択肢がある
- ・魅力がたくさんある
- ・各方面の名人に出会えたら一生のファンになる

◎国際都市・厳原、府中

◎対馬の自然

- ・動植物（ツシマヤマネコ、対州馬、ツシマ・・・）
- ・自分も生き物＝自然の一部なんだと感じられて元気になる
- ・リアス海岸

◎対馬の歴史

- ・歴史と文化（戦史、交流）
- ・元寇、倭寇、貿易
- ・金田城跡
- ・万葉

◎食材全てが超一級の極上品

◎人とのつながり（仲間意識）

(対馬の観光の課題、困っていること)

情報発信や地域コミュニティに関する意見が多い

◎情報発信の不足

- ・情報のプラットフォーム、ディレクション
- ・情報を取れる場所がない
- ・良さをどう広めるか、発信方法
- ・来島からしか開けないサイトが必要
- ・往復の船、飛行機の時間を活用しきれていない
- ・観光の事前レク

◎観光案内機能の不足

- ・個別個別の興味やニーズに応じてそれぞれの案内が必要
- ・地元の人が語れるように

◎食事処・宿泊施設の不足

◎仲間意識が強すぎる

◎地域の繋がり、地元人材

- ・人材育成・紹介・人材バンク
- ・コミュニティ、つながり、寄り合いが弱い
- ・災害が発生した時の結束
- ・家族間で話がありません

◎観光コンテンツの充実

- ・観光スポットが限定されている
- ・「スポット」ではない「ありのまま」をどう味わってもらうか
- ・雨の時に楽しめるものが必要

◎交通利便性の欠如

- ・道路、アクセスが少ない
- ・厳原町内が車がなくても回遊できるまちづくりではない
- ・航路の運賃が高い

(5年後に目指したい対馬観光の姿)

若手人材・空き家活用に関する意見が多い

◎若手人材の活用

- ・高校生の気軽なタイミーバイト
- ・若い市民が地域に入りやすい環境づくり
- ・多世代でのまちづくり、高校生の地域参加
- ・若い世代が島のことを知る
- ・若者と協力して店や事業の立て直し

◎空き家の活用、移住促進

- ・空き家の活用
- ・気軽に家を手放せる仕組み
- ・2拠点居住（空家、公共施設）
- ・対馬の家賃が下がってほしい。移住のためにも

◎産業の維持

- ・地域独自の産業が維持できる体制づくり
- ・蜂蜜や椎茸など、今の生産者が半減するのをどうするか？

◎2次交通の充実

- ・コミュニティ循環バスの導入
- ・住民がレジャー客を乗せてもOKな仕組みづくり

◎厳原の滞在拠点化

- ・厳原を町ごとホテルに
- ・寝るところやお風呂、食べるところがまち中心に点在

◎環境保全・循環

- ・山が荒れないように管理・生産
- ・エコなエネルギーを使う島

◎食事処（日曜夜、月曜日）

◎見えていないコンテンツを活用する観光（歴史とか）

(目指す観光に向けて必要なこと)

積極的なPR、若手人材の観光活用に関する意見が多い

◎対馬のPR・ファンづくり

- ・対馬ファンの開拓
- ・島外に出た子の友人が対馬を楽しめる補助金
- ・フェリーやバスの中で対馬ミュージカルを放映
- ・面白い歴史を漫談でアピール

◎島内周遊の促進

- ・コミュニティ循環バス
- ・回遊ルートに休憩スポット
- ・観光拠点の駐車場整備

◎若手人材の活用

- ・若者が担い手となるコンテンツ
- ・清掃や維持管理に参加できる仕組み、きっかけづくり
- ・高校生がバイトで関わる仕組み
- ・コミュニティに関するレク

◎関係人口の増加

- ・関係人口づくり
- ・島外に拠点がある人がリモートワークで観光と関わる仕組み

◎家の終活の普及

